

2026年 3月25日

京成電鉄株式会社

東京藝術大学学生を表彰 2025年度「京成電鉄藝術賞」授賞作を決定

—教育研究の一層の推進と優れた芸術文化活動の充実に貢献—

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:天野 貴夫)では、国立大学法人東京藝術大学(所在:東京都台東区、学長:日比野 克彦)学生の卒業・修了制作を対象としている「京成電鉄藝術賞」の2025年度授賞作品を、東京藝術大学 学部4年 先端芸術表現科 富澤 理佐(とみざわ りさ)氏の修了制作「Fairy Ring」に決定し、表彰しました。

「京成電鉄藝術賞」は、2017年6月に締結した「国立大学法人東京藝術大学と京成電鉄株式会社との連携・協力に関する包括協定書」に基づき、2020年3月に創設し、教育研究の一層の推進と優れた芸術文化活動の充実に目的として、同学学生の卒業・修了制作のうち優れた作品を表彰しています。

「Fairy Ring」は、作者が幼少期に習っていたバレエから発想を得て、自由に表現することの喜びを音・光・映像・立体作品で表した素晴らしい作品であることから、京成電鉄藝術賞の授賞作品としました。また、同作品を紹介するポスターを制作し、京成上野駅構内で一定期間掲出するほか、京成電鉄各駅の運行情報ディスプレイや当社の公式SNSにおいても作品紹介を行います。

京成電鉄では、今後も事業エリアの皆さまと共に、地域社会の発展や芸術文化の振興を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



2025年度授賞作品 「Fairy Ring」
東京藝術大学 学部4年 先端芸術表現科 富澤 理佐氏 作

以上

【参考①】 東京藝術大学と京成電鉄との連携について

東京藝術大学と京成電鉄では、2017年6月26日付で、文化・観光の振興等の分野で緊密な協力関係を築き、地域社会の発展、ひいては日本の芸術文化の振興を図ることを目的とし、京成エリアの魅力向上や文化・観光の振興に関して連携・協力を推進することに合意し、包括協定を締結しました。

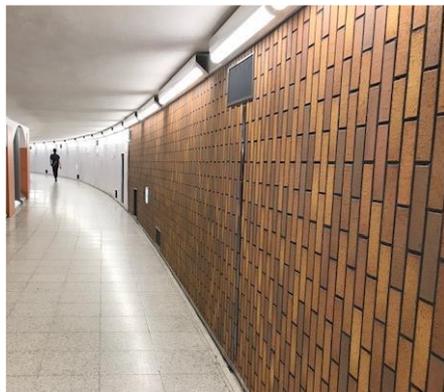
これまで、東京都選定歴史的建造物である「旧博物館動物園駅」の駅舎改修における出入口扉のデザイン(2018年)、京成上野駅のリニューアルに際しての発車メロディーの作成(2019年)、京成上野駅地下連絡通路のリニューアル(2020年)、京成上野駅への駅ピアノ設置(2022年)、旧博物館動物園駅をデジタルアーカイブした「デジタルハグドウ駅」の公開(2022年)など、各分野での連携を進めています。



旧博物館動物園駅出入口扉
(東京藝大美術学部長(2018年当時)・日比野克彦氏デザイン)



京成上野駅発車メロディー
制作の様子



リニューアル後の上野連絡通路



京成上野駅ピアノ設置 ミニコンサートの様子



「デジタル ハグドウ駅」

【参考②】過去の「京成電鉄藝術賞」授賞作品について



＜2019年度＞
日本画専攻 小田川史弥氏
「遠すぎて」



＜2020年度＞
油画専攻 諏訪葵氏
「不可逆なオーバーラップ」



＜2021年度＞
彫刻専攻 竹野優美氏
「めぐりの詩」



＜2022年度＞
漆芸専攻 下村史氏
「live」



＜2023年度＞
デザイン専攻 中山胡桃氏
「愛すべきじゅるい」



＜2024年度＞
建築専攻 市原舞氏
「きみのみち みんなのみち」